

アンテナショップ管理運営事業費

事業評価個票（事業実施：平成30年度）					部局名	商工労働部		
短期アクションプラン	テーマ	テーマ3 新たな価値の創造・拡大・発信による活力ある産業の集積						
	施策	施策3 県産品の販路拡大						
	目的	国内の市場が成熟し商品が厳選される中、商品の魅力向上とともに、消費者に商品価値を的確に伝えるなど、県産品の新たな需要を掘り起こしていく。						
	目標指標(R2)	山形ファンクラブ会員数	45,000人					
	策定時の実績	24,107人(H27)	現状	27,004人(H30.2)	主要事業	世界に通用するブランドの創出		
事業名	アンテナショップ管理運営事業費			担当課・担当	商業・県産品振興課 県産品振興担当			
事業開始年度	平成21年度			事業終了(予定)年度				
事業の目的 (目指す姿を3行程度で簡潔に)	「山形を知っていただく」、「県産品を買っていただく」、「山形に来ていただく」ための情報発信拠点として設置している県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」について、運営方法を検証し、機能強化を図りながら、県産品振興を推進する。							
事業概要 (5行程度で簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップの管理運営 ・アンテナショップの入居に係る契約更新及び賃料の支出 ・アンテナショップ設備に係る管理及び整備 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 上記実施方法とする理由：アンテナショップは、店舗運営については有限責任事業組合YYC共同企業体を運営事業者としているが、管理運営の全般は当課が担当している。（負担については、県アンテナショップ運営協議会負担金が該当。）							
予算額・決算額 (単位:千円)	費目(予算見積書のグループ名)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	アンテナショップの管理運営	22,705	22,853					
	アンテナショップの入居に要する賃借料の支出	84,358	84,358					
	アンテナショップ賃貸借契約更新	6,374	0					
	アンテナショップ設備に係る管理及び整備	6,767	24,697					
	計	120,204	131,908	0	0	0		
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金							
	繰入金							
	その他特定財源	20,340	39,114					
	一般財源	99,864	92,794					
	計	120,204	131,908	0	0	0		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	アンテナショップにおける各種キャンペーンの実施	活動実績	回	4	5			
		当初見込み	回	4	4	4	4	
成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標 (所管部局の分析)		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	アンテナショップの来店者数	成果実績	人	65万	64万			
		目標値	人	73万	76万	80万	83万	
		達成度	%	89.0	84.2			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ機能強化事業 ・山形ファンクラブ活用推事業 							

事業目標の考え方(事業目標設定時)

アンテナショップ「おいしい山形プラザ」は、平成21年度の開店以来、来店者数は安定的に60万人を超えるなど、県産品の情報受発信拠点としての機能を果たしているが、県産品の更なるブランド化を図り、浸透度の高い効率的な情報を発信していく必要がある。
首都圏における情報受発信拠点としての機能を拡充するため、これまでの取組みに加え、山形らしい季節感や懐かしさの漂う店舗づくり、山形の観光イベントの積極的なPR等工夫を凝らしながら運営していく。
その成果を図る指標については、運営面での工夫による集客の成果が最も明確に表れる来店者数を用い、これまでの状況及び今後の推定値を勘案して設定。

事業所管部局による評価・検証

	項目	評価	評価に関する説明
事業目標の妥当性・達成度	事業の目的は県民や社会のニーズを的確に反映しているか。	A	2009年の開店以来、アンテナショップへの来客数は安定的に年間60万人を超えるなど、県産品の情報受発信拠点としての機能を果たしているが、質の高い県産品の魅力を、特に首都圏等の大消費地により伝えていくため、本事業を展開し、県産品の更なる魅力発信を図り、浸透度の高い効果的な情報発信を推進する必要性は高い。 山形らしい季節感や懐かしさの漂う店舗づくり、県産酒試飲会による情報発信等に力を入れているが、老朽化した設備の更新のため一時的に店舗を休業したことや、大型商業施設ができたことによる人の流れの変化に伴い、来店者数は伸び悩んでいる。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	A	
	目標水準は妥当か。	B	
	期待する成果が得られたか。	B	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	A	
事業内容の妥当性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	A	季節に合わせて県産品振興担当の情報発信につながるキャンペーンやイベントを行っている。
	支出先の選定は妥当か。	A	管理運営にあたり必要不可欠となる、業務の委託料や光熱水費、建物の賃借料等を支出している。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—	設備管理については、老朽化に伴う不具合や不調等、店舗運営に支障をきたしているものについて、空調設備、冷蔵機器、厨房機器等を更新している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	A	負担金の使途については、アンテナショップ運営協議会で承認を受けたものに限定している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	A	アンテナショップは県産品全体の情報受発信拠点であることから、商工労働部以外の部局と連携したイベントを図っている。
	類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	A	
役割分担の妥当性	市町村、民間等に委ねることができない事業なのか。	A	アンテナショップは県産品全体の情報受発信拠点であるため、市町村と協力して事業を推進することが必要であるが、山形県のアンテナショップとして管理運営の全般は県が担当する必要がある。また、アンテナショップの運営にあたっては、民間事業者に委託している。
今後の改善点等	これまでの取組みに加え、山形らしい季節感や懐かしさとともに、目新しさや賑やかさが感じられる店舗づくり、山形の観光イベントの積極的なPR等、運営面での工夫を凝らしながら、首都圏における情報受発信拠点としての機能を拡充していく。成果実績の目標達成に向け、キャンペーンやイベントの継続、銀座の客層のボリューム層である中高年に訴求する商品販売などを実施することで、集客強化に努めていく。		

・事業所管部局による評価にあたっては、以下の4つの選択肢から、1つを選ぶこと。

A: 目標を上回って達成する見込み。期待通りの成果(100%以上)。妥当。

B: 目標を概ね達成する見込み。概ね期待通りの成果(80~99%)。概ね妥当。

C: 改善の余地あり。期待した成果を下回っている(79%以下)。

—: 該当しない